

クローン病患者の術前・術後におけるGfine摂取によるDAO活性の推移について

齋藤恵子 1) 松尾和美 1) 高添正和 2)

1) 社会保険中央総合病院栄養科

2) 社会保険中央総合病院炎症性腸疾患センター

1. はじめに

クローン病 (Crohn's Disease :CD) は、再燃・寛解を繰り返す原因不明の慢性炎症性腸疾患で、未だ根本的な治療法は確立されていない疾患である。その治療経過中には、手術療法となることも少なくなく、早期回復のためにも術前からの栄養管理が重要である。一般に、術前の栄養管理は中心静脈栄養法 (TPN: Total Parenteral Nutrition) とし、絶食で管理することが多いが、絶食期間が長期に亘ると小腸微絨毛の萎縮、Bacterial Translocation、腸内環境の悪化等が問題とされている。術前から腸内環境を整えることは、腸管粘膜の萎縮防止等の可能性があり、術後の感染予防、排便状態の改善、腹部膨満の軽減等、患者のQOL向上が期待できる。今回我々は、CD患者の術前からビフィズス菌とグアーガム分解物入り飲料 (Gfine) を摂取することで、腸内環境改善や腸管粘膜の萎縮防止等ができるかを検討した。

2. 方法

2010年10月～11年12月に当院で手術を受けるCD患者で、医師の指示により絶食であり、本人あるいは本人の保護者 (本人が未成年である場合や十分な判断力がない場合) から研究に参加する旨、同意を得られた人。人工肛門保有者や、人工肛門造設術を受ける患者は除外した。同意を得られたCD患者を、『GFine (ジーファイン)』摂取群とプラセボ (グアーガム分解物とビフィズス菌の入っていない飲料) 摂取群に分けた。それぞれの飲料は、術前は1週間前より手術前日日まで、術後は飲水開始日より、術後2週間終了まで、1日に2回 (昼と夕) に摂取することとした。採血は術前1週間前、手術前日、術後1週目、術後2週目に行い、DAO活性とともにその他採血データを調べた。消化器症状を調べるため、排便状況を毎日、観察シートに記載、排便状態は点数化した。

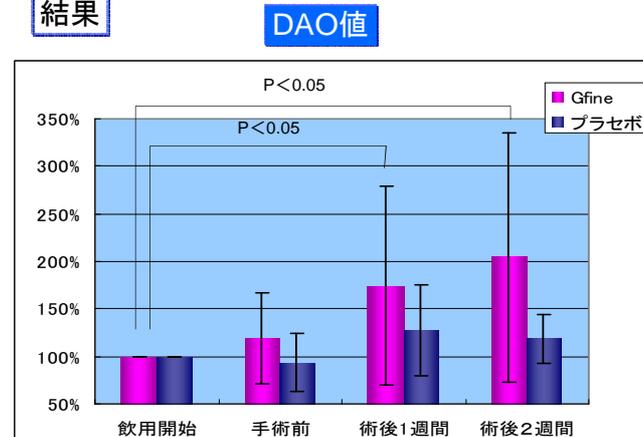
結果 患者背景

	Gfine群	Placebo群
性別	男6名 女3名	男8名 女2名
年齢(歳)	37.7±15.4	37.2±10.5
手術回数(回)	2.0±0.9	1.8±0.8
残存小腸長(cm)	298.8±158.1	413.0±86.4
手術理由	狭窄6名 瘻孔3名	狭窄7名 瘻孔3名
飲水開始までの日数(日)	5.3±1.8	7.3±2.9
退院までの日数(日)	37.7±15.4	21.8±15.4

3. 結果

血液中のDAO値は、開始前を100%としてGfine群は術後1週目で有意に増加を示し174%、術後2週目で205%となった。一方プラセボ群は術後1週目で127%、術後2週目で119%であった。

結果



排便回数については、Gfine群は術後1週目3.6回/日、術後2週目3.2回/日で、プラセボ群は術後1週目5.1回/日、術後2週目4.5回/日であった。腹鳴は術後2週目で、腹部膨満感が術後1週目でGfine群が有意差をもって軽減していた。なお、術後のGfine群の残存小腸長の平均値は299cm、プラセボ群は413cmであった。

4. 考察

Gfine群は、残存小腸が短いにも関わらず手術前に比べて術後のDAO値が有意に上昇していた。消化器症状についても、プラセボ群と比較して良好なことから、Gfine群は小腸微絨毛の活性化、腸内環境の改善等が考えられた。また、消化器症状の悪化、採血データの悪化が認められなかったことから、術後飲水期からの使用も問題はないと考えられる。

5. まとめ

Gfine摂取による栄養状態の悪化、炎症の悪化等はみられず、Gfineは術前術後のCD患者が摂取しても安全であり、腸管機能の維持改善に有用と考えられる。また、CD患者のみならず、消化器手術の術前術後の栄養管理について使用でき、術後、早期飲水期よりの使用も可能であると考えられる。

(第27回日本静脈経腸栄養学会報告加筆)

Recommendation for using fibre in enteral nutrition

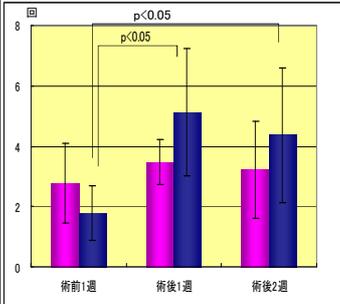
To prevent enteral nutrition induced diarrhoea in post surgical and in critical ill-patients supplementing enteral nutrition with PHGG (partially hydrolysed guar gum) is effective. (Recommendation A)

Clinical Nutrition Supplements (2004) 1, 73-80

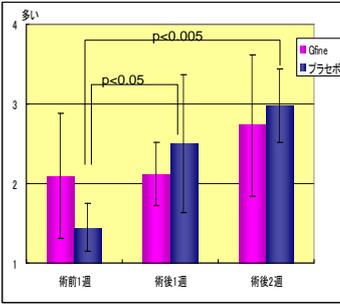
* グァーガム分解物は、ESPEN会議で栄養剤による下痢改善として推奨度Aと評価されています。

結果

排便回数

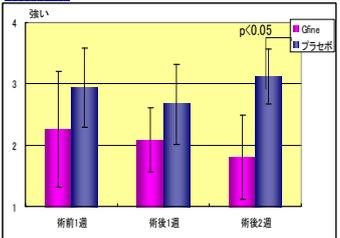


排便量

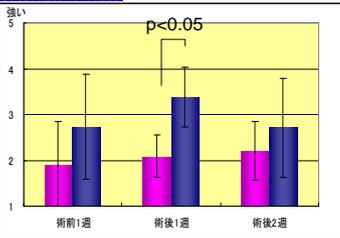


■ Gfine
■ プラセボ

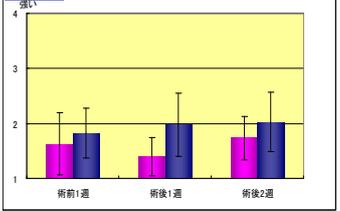
腹鳴



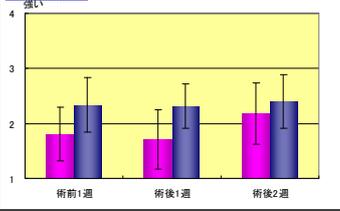
腹部膨満感



強い



残便感



ジーファイン

ビフィズス菌50億個配合
(*Bifidobacterium longum* BB536)
グァーガム分解物*
(水溶性食物繊維)5g配合

<柑橘系風味>
5.6g × 30包

Prebiotics + Probiotics



Synbiotics (シンバイオティクス)

腸の健康をサポート!!

AiDOnews - アイドウ ニュース -

発行・編集 アイドウ株式会社 ■e-mail: info@ai-do.jp ■HP: http://www.ai-do.jp
〒510-0943 三重県四日市市西日野町256 TEL:059-358-0092 FAX:059-358-5227

